

みなみかわめ 南川目さんさ踊り^{おど}

- ◇ 指定日 平成21年5月21日
- ◇ 所在地 長沢
- ◇ 保持団体 南川目さんさ踊り保存会

明治20年ごろ川井村岡村地区から嫁いで来た方が「川井さんさ」を伝えたのが始まりとされています。地元の霊場十三仏の祭りに地区をあげて奉納し、盆には各家々を回って庭先で祖先の供養に三晩も踊ったものでした。

踊り手は花笠をかぶり、^{いろがらそで}色柄袖の^{じゅばん}襦袢に浴衣を着て、襷をかけ右袖を脱ぎます。帯の上に色違いのしごきを左右に垂らします。男性の太鼓は、袴をはき、太鼓を叩きながら活発に跳ねます。

「キタコラサッサー」のかけ声と共に始まり、素朴で力強く躍動感ある踊りで、五穀豊穡や家内安全を祈りながら踊り伝えてきました。

横山八幡宮例大祭の際に神輿の御供をし、商店街を門打ちしています。
演目…御礼講・庭まわりの他7曲。

